

Bereaved family support

遺族支援を

行っている人たちに
知っておいて欲しいこと

～LGBTQ+基礎知識～

同性パートナーと死別した場合やLGBTQ+の子どもが自死した場合、「遺族の会」に参加しても、異性パートナーだと嘘をつかなければならない…子どもの自死の理由を周囲に言えず抱え込む…そうしたことは少なくありません。



参加費
無料

12月13日(水) 19:00~20:30

いまだにLGBTQ+への理解が進んでおらず、遺族の会などの一般の支援団体の中で安心してグリーフケアを受けられる状況にはないため、プライドハウス東京では、令和3年度からLGBTQ+の死別体験者独自の「わかちあいの会」を行ってきました。

今年度は、一般の遺族支援団体と連携をし、LGBTQ+への理解を進め、安心してグリーフケアを受けられる環境を整えていくことになりました。遺族支援におけるLGBTQ+に係る基礎知識や配慮しておいてほしいことなどをお伝えしていきたいと思えます。テーマに関心がある方は、どなたでもご参加ください。

会場

オンライン開催 (Zoom)

定員

50名 (先着順)

申込方法

右記バーコードよりアクセスし、フォーム入力して申してください



講師



プライドハウス東京 理事
前田 邦博

LGBTQ+のソーシャルワーカーとして、プライドハウス東京では、「LGBTQ+死別体験者のわかちあいの会」を通して、LGBTQ+の当事者とその周りの方々のグリーフケアを行ってきました。



お問合せ: プライドハウス東京・生と死を考える会 legacy@pridehouse.jp

共 催: NPO法人 生と死を考える会/NPO法人 プライドハウス東京

本事業は、厚生労働省令和5年度自殺防止対策事業の一環として行っています。